

□こどもの生活学科 アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

こどもの生活学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。

- (1)子どもの生活環境に関して関心を抱いている。
- (2)保育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (3)教育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
- (4)他者との関わりを大切に、相手の立場に立って考え、行動できる。
- (5)自身の潜在能力をさらに開発し、地域の課題解決に率先して参画したいと思っている。

そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

(A)学力の3要素

(A-1)基礎的・基本的な知識・技能について

家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。

(A-2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

①（思考力）

日常生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。

②（判断力）

他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。

③（表現力）

本学の掲げる四大精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(A-3)主体的に学習に取り組む態度について

粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

(B)行動特性について

①（前に踏み出す力）

主体性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。

実行力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。

②（考え抜く力）

課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。

創造力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。

③（チームで働く力）

発信力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。

傾聴力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。

規律性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。